

関経連は、東日本大震災からの復旧・復興を全力で応援します。

関西経済レポート

関西の各種指標をみると、海外経済減速などの影響から足踏み状態が継続し、一部で弱含みの動きが見られる。

輸出は、中国を含むアジア向け、欧州向けの減少が続き、厳しい状態が続く。

雇用は持ち直しの傾向が一服し、消費も横ばいとなっている。

先行きについては、電力の供給制約、海外経済の動向や為替相場の影響等に注視が必要である。



2012年12月31日

関経連経済調査部

本レポート中の「近畿」「関西」の範囲は滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県。

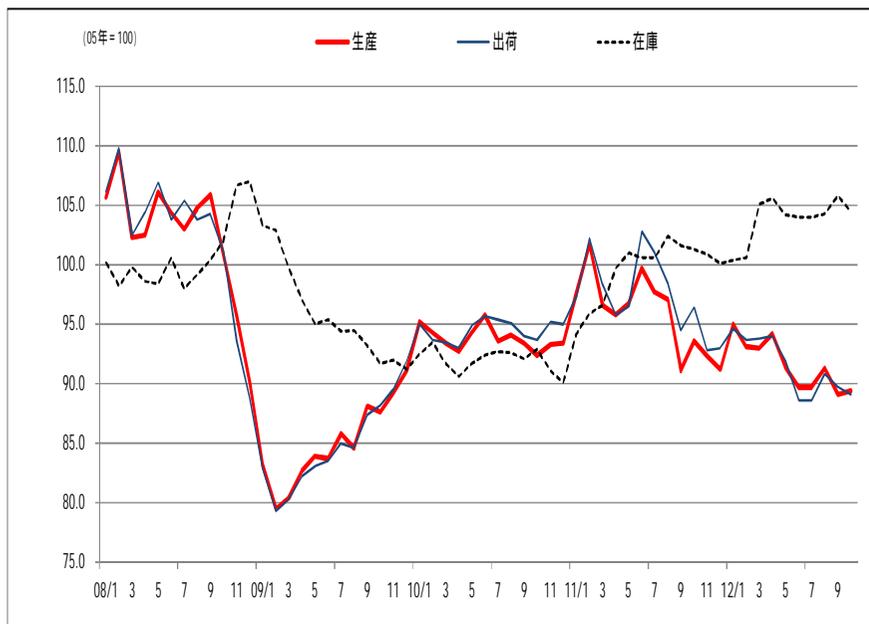
ただし鉱工業生産、大型小売店販売額については、福井県を含む2府5県。

~ 目次 ~

生産	・ ・ ・ ・ ・	1
輸出入	・ ・ ・ ・ ・	2
個人消費	・ ・ ・ ・ ・	3
雇用	・ ・ ・ ・ ・	4

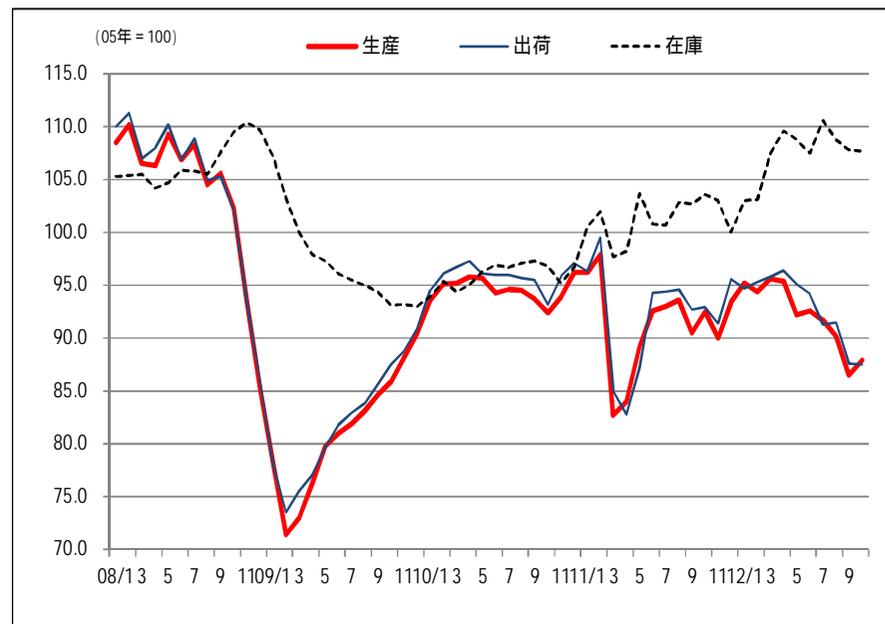
～生産～

鉦工業指数の推移（近畿 2012年10月確報まで）



（出所）近畿経済産業局

鉦工業指数の推移（全国 2012年10月確報まで）

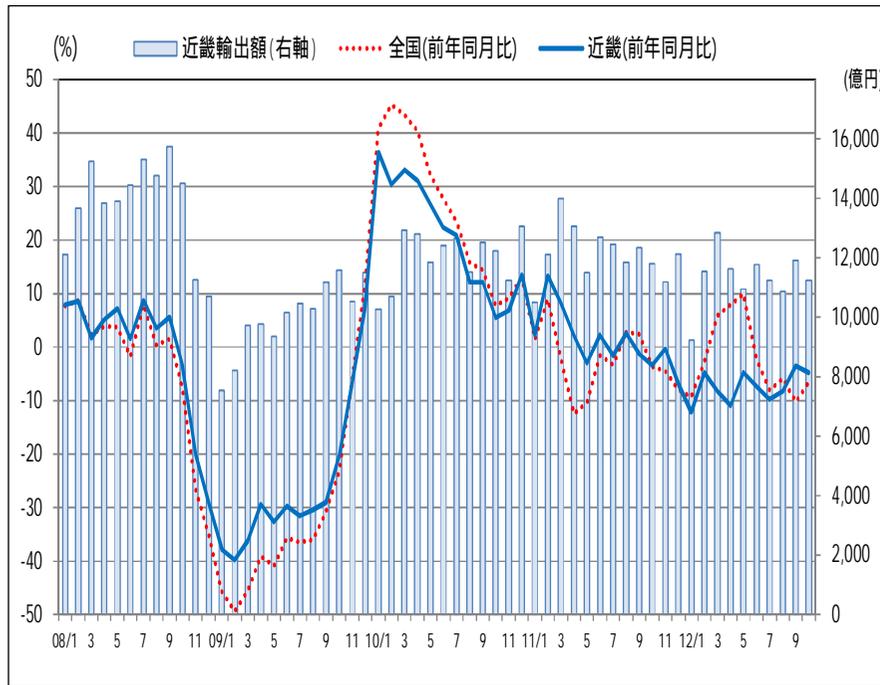


（出所）経済産業省

- ・ 近畿の10月（確報）の鉦工業生産指数は、89.4。前月比+0.3%と2カ月ぶりの上昇。総じて見れば、生産は弱含み。
 出荷は前月比 0.7%の89.1と、2カ月連続の低下。在庫は、前月比 1.2%の104.5と3カ月ぶりの低下。
 業種別にみると、金属製品工業、電子部品・デバイス工業、化学工業（除・医薬品）等の生産が上昇。
 品目別にみると、橋りょう、トランジスタ、化粧品などが上昇に寄与。
- ・ 全国の10月（確報）の鉦工業生産指数は、87.9。前月比+1.6%と4カ月ぶりの上昇。総じて見れば、横ばいの傾向。
 出荷は、前月比 0.1%の87.5と2カ月連続の低下。在庫は、前月比 0.1%の107.7と3カ月連続の低下。
 業種別では、電子部品・デバイス工業、金属製品工業、輸送機械工業等などが低下に寄与。
 製造工業生産予測調査によると、11月は低下、12月は上昇を予測している。

～ 輸出入 ～

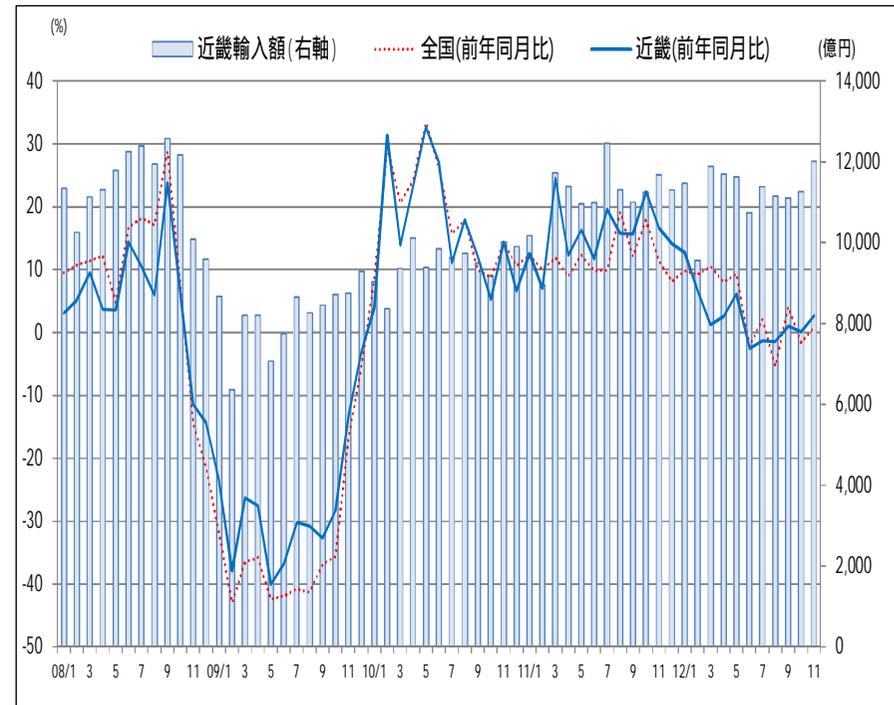
輸出金額・前年同月比増減率推移（2012年11月まで）



近畿の月次の輸出動向（2012年11月まで）

- 11月の近畿の輸出額は1兆745億円、前年同月比 3.9%。15カ月連続の前年同月比マイナス。
- 建設用・鉱山用機械、遊戯用具、半導体等製造装置等が減少。
- 地域別では、アジア向けが前年同月比+0.7%14カ月ぶりのプラス。うち中国向けは同 7.0%と12カ月連続のマイナス。
EU向けは同 23.0%と16カ月連続のマイナス、米国向けは同 5.9%と4カ月ぶりのマイナス。
- 全国の11月の輸出額は4兆9,839億円、前年同月比 4.1%。

輸入金額・前年同月比増減率推移（2012年11月まで）



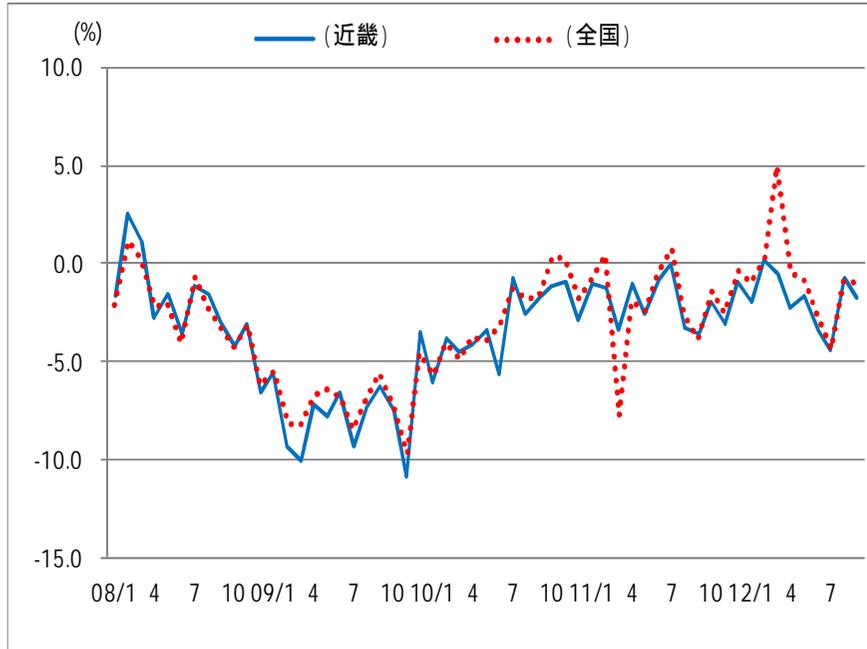
近畿の月次の輸入動向（2012年11月まで）

- 11月の近畿の輸入額は1兆2,005億円、前年同月比 + 2.7%と3カ月連続のプラス。
- 通信機、原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス等が増加。
- 地域別では、対アジアが前年同月比+3.3%と2カ月ぶりのプラス。アジアのうち対中国が同+1.8%と2ヶ月ぶりのプラス。対米国が同 1.1%と2カ月ぶりのマイナス。対EUは同 13.6%と2カ月ぶりのマイナス。
- 全国の輸入額は5兆9,373億円、前年同月比 + 0.8%と2カ月ぶりのプラス。

出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿)

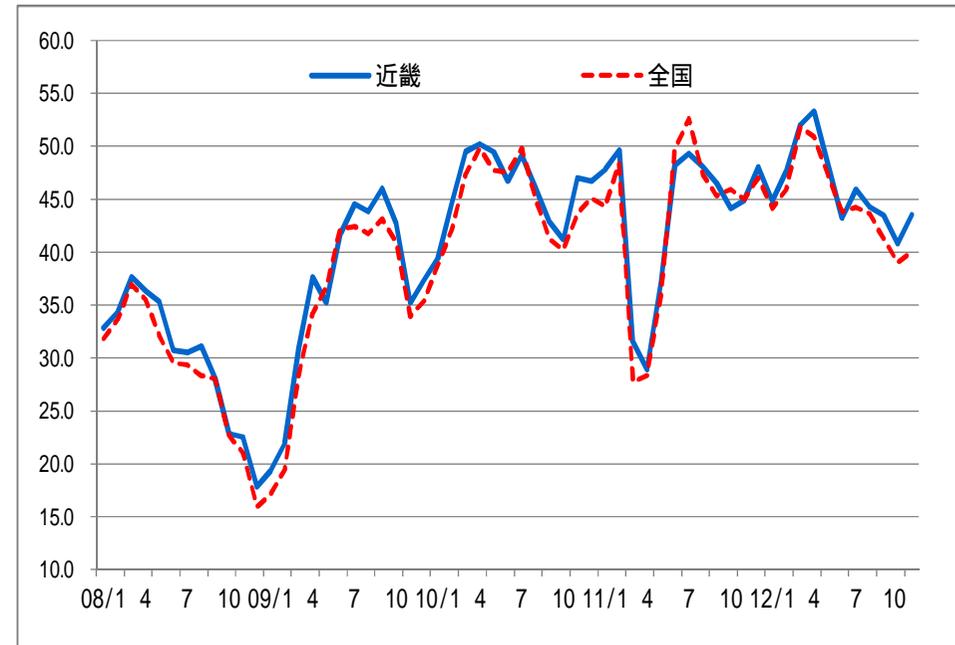
～ 個人消費 ～

大型小売店販売額（前年同月比・2012年10月まで）



（出所）近畿経済産業局

景気ウォッチャー調査（現状判断DI・方向性 2012年11月まで）



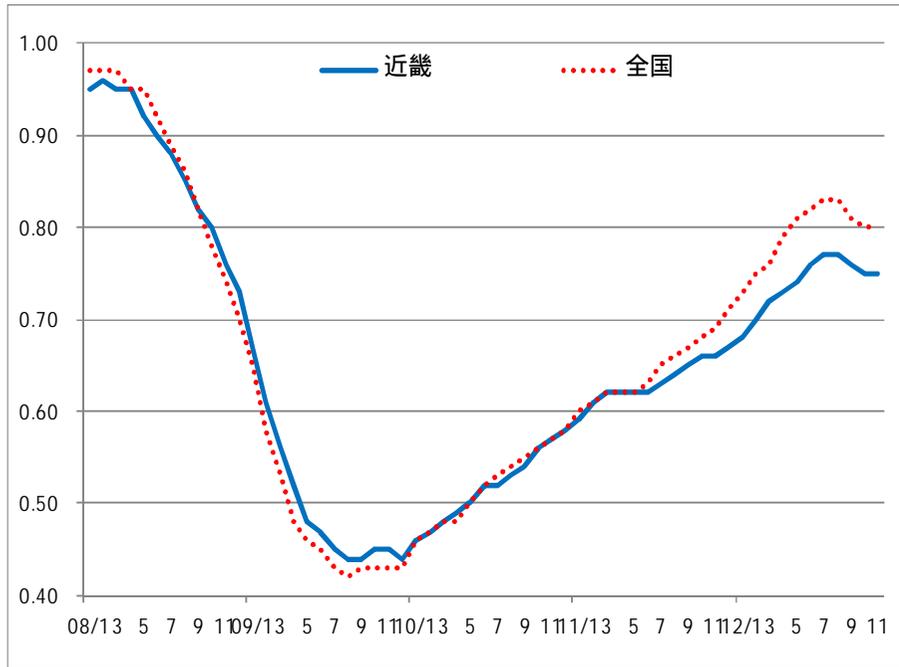
（出所）内閣府

- ・ 近畿の10月の大型小売店(百貨店 + スーパー)の販売額(既存店ベース)は、前年同月比 2.6%と8カ月連続のマイナス。
- ・ スーパーは同 3.5%と47カ月連続のマイナス。
- ・ 百貨店は同 1.2%と7カ月ぶりのプラス。
- ・ 月中旬まで気温が高めに推移し、秋冬物が苦戦したことなどからマイナスに。
- ・ 全国の10月の大型小売店販売額(既存店ベース)は同 3.2% 6カ月連続のマイナス。

- ・ 11月の近畿の現状判断DIは前月比 + 2.7ポイントの43.5と、4カ月ぶり上昇。一部の業種では、日中関係悪化の影響が見られたものの、
気温の低下により季節商品の販売増加等により上昇。
- ・ 全国の11月の現状判断DIは前月比 + 0.1ポイントの40.0。
- ・ 近畿の11月の先行き判断DIは前月比 + 0.7ポイントの45.7と、
2カ月連続の上昇。
- ・ 先行きは、円高の改善や更なる気温の低下による初売り商戦への期待から上昇。
- ・ 全国の先行き判断DIは同 + 0.2ポイントの41.9。

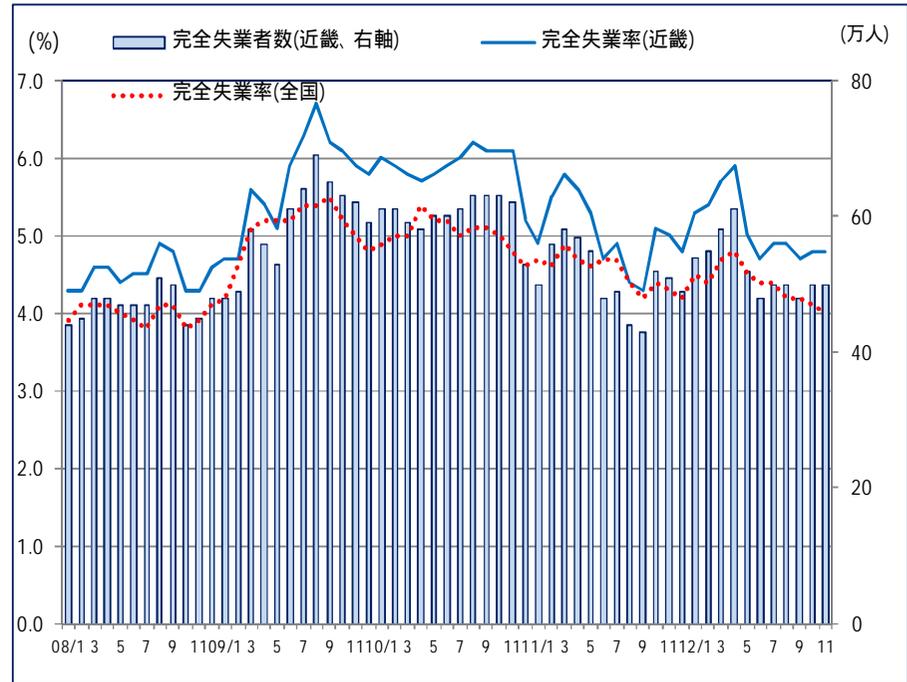
～ 雇用 ～

有効求人倍率の推移（季節調整値・2012年11月まで）



（出所）厚生労働省

完全失業率の推移（原数値・2012年11月まで）



（出所）総務省「労働調査」

地域別有効求人倍率2012年11月

	全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
10月	0.80	0.61	0.88	0.82	0.80	0.92	0.94	0.75	0.93	0.84	0.66
11月	0.80	0.62	0.89	0.83	0.79	0.92	0.92	0.75	0.91	0.83	0.66

- ・2012年11月の近畿の有効求人倍率は0.75倍、前月から横ばい
- ・全国は0.80倍で、前月から横ばい。

- ・11月の近畿の完全失業率（原数値）は4.8%。前月から横ばい。
前年同月比では 0.2ポイント改善。
- ・持ち直しの傾向が一服している。
- ・11月の全国の完全失業率（原数値）は4.0%、前月から0.1%の改善。
- ・11月の全国の完全失業率（季節調整値）は4.1%、前月から 0.1%の改善。